



学校安全ネットワーク情報

Vol. 25

学校安全ネットワーク推進研修会を開催しました

小学校教員の危機管理意識を高め、「学校安全ネットワーク」の推進・拡充に関する課題の解決を図るため、市立小学校の安全教育主任を対象に研修会を実施しました。

- 1 日時 平成25年8月23日(金) 15:00～17:00
- 2 場所 さいたま市立教育研究所 5階研修ホール
- 3 主な研修内容

○研究協議:地域の実態に応じた「学校安全ネットワーク」体制の構築と現状について

①研究協議



各校の安全教育主任が自校の「学校安全ネットワーク」に関する取組をレポートにまとめ、より良い防犯体制を目指し、活発な意見交換が行われました。

②講評 学校地域連携コーディネーター 高橋 正 氏



高橋氏からは防犯に関する「地域やPTAへの広報活動の重要性」や「子どもの安全意識の啓発」に関して指導いただきました。

学校安全ネットワークセンター校の取組

学校安全ネットワークセンター校に委嘱した小学校では、区の校長会等を通じて、学校安全ネットワークの取組に関する情報交換をしています。



見沼区小学校校長会では、区の学校安全ネットワークセンター校である春野小学校長より取組を報告いただきました。また、地域安全マップの作成に関する情報交換が行われました。

◎親子で防犯 ～自分の身を守るために～

親子で防犯意識を高めることを目的に、親子防犯教室が昨年度の太田小学校に引き続き、今年度は城南小学校PTA・岩槻区防犯連絡協議会の主催により城南小学校で開催されました。

当日は1年生の児童と保護者の方々のほか、地域の方々など100名以上の御参加をいただきました。

- 1 日時 平成25年9月30日(月) 13:40～14:25
- 2 場所 城南小学校体育館
- 3 内容 NPO法人体験型安全教育支援機構(以下、支援機構)による「体験型」防犯教室

【体験型安全教室プログラム】

- (1)まっすぐ前を見て歩行(2)危ない場所、不審者の特徴を知る
- (3)「きっぱり」と断る練習 (4)大きな声を出す練習
- (5)防犯ブザーを鳴らす練習 (6)20m走る練習
- (7)1.2.3でロケットダッシュの練習 (8)囁みつく練習 など

支援機構の方々の指導のもと、児童と保護者の方々が、防犯のポイントを体を使って体験的に学習します。



支援機構のスタッフが不審者役になり、児童に「お菓子をあげる」などと声をかけます。児童は「きっぱり」と断ることで、不審者の特徴を記憶する練習をします。

囁む練習です。身の危険を感じた時に、すぐ行動に移せるよう、日頃から訓練をしておくことが重要です。腕にはタオルを巻いて怪我しないようにしています。



子どもと親が体験的に防犯を学ぶことで、日常生活における子どもへの防犯指導の機会が増え、学校・家庭・地域が連携した、骨太な防犯力の定着が期待されます。是非、他校でも機会を捉えて実践してみてください。



防犯ワンポイントアドバイス ～総合的「地域安全マップ」の作成～

各学校ではすでに学区域の危険箇所を示した「地域安全マップ」を作成されていることと思います。地域安全マップは、「①教職員・警察・区役所 ②PTA・地域の防犯ボランティア ③児童」の3者(の目線)で作成することと、「(1)防犯(不審者が出没しやすい場所、『子どもひなん所110番の家』の場所の記載) (2)交通安全(交通事故の発生が懸念される場所) (3)防災(避難場所・AED設置場所・万年塀等の倒壊が危惧される場所)」の3つの視点が記載された総合的「地域安全マップ」が作成されることが望ましいです。これにより、多様な観点で地域安全(危険)を総合的に把握することができます。